年度	2023
講義コード	15373
講義名称	病院経営学実習
科目英文名	
講義副題	
開講責任部署	総合人間自然科学研究科（修士課程） 医科学専攻
講義区分	
基準単位数	2.0
時間割	1学期: 集中講義, 2学期: 集中講義
講義開講時期	通年
配当学年	1
遠隔授業	
区分1	
区分2	
資格等	

担当教員

氏名	所属
菅沼　成文	医学部

授業実施方法	主にオンライン同期型（全開講回数の過半数）、一部対面

副題【SUBHEADING】

【テーマ（日本語）】(IN JAPANESE)	病院経営学実習

オフィスアワー 【OFFICE HOURS】	メール（nsuganuma@kochi-u.ac.jp）またはhmp4@kochi-u.ac.jpにて要予約。
学生相談場所 【OFFICE LOCATION / ROOM 】	総合研究棟Ⅱ2階　環境医学教授室
履修希望学生に求めるもの 【PREREQUISITES / REQUIREMENTS】	現場での実践学習を通して、課題を解決する能力を養う。

教員相互参観授業公開日程【OPEN CLASS OBSERVATION】

【公開できる週】	全て公開しない

備考 【NOTES ON CLASS ENROLLMENT】	履修条件があります。 医師、歯科医師、看護師、薬剤師、その他の医療従事者、事務職員、医療関連企業等の中で病院経営に関与している者（部署責任者、またはそれに準ずる者等）、今後関与する予定の者。 教員（菅沼、平尾）は医師免許を有する実務家教員

授業の到達目標【COURSE OBJECTIVES & CURRICULUM CHECK LIST】

授業科目の到達目標 （COURSE OBJECTIVES）	知識・理解 knowledge /understanding	思考・判断 thinking / judgement	関心・意欲 interest /eagerness	態度等 positive attitude	技能(技法)・表現 skill(technique)/expression

「自身が抱える課題」について経営学の観点で整理する	◎	◎			
活用可能なフレームワークを理解して、実際に当てはめることができる	◎	◎			
組織の中での意思決定を理解し、課題抽出、課題解決へのステップを踏むことができる。			◎		
病院経営に対して責任ある態度で課題に取り組むことができる				◎	
論文形式で最終レポートをまとめることができる					◎

授業時間外の学習 **【STUDENT PREPARATION & REVIEW AT HOME】**	講師からアドバイスを受けつつ実習課題設定作業を時間外にも行い、定期的（２週間に１回）実習進捗状況を報告することを行っていただく
授業計画表（テキスト形式） **【LESSON PLAN】**	実習は10月～12月に実施する。 ◆年間スケジュール（予定） 4月　　「自身が抱える課題について」提出 　　講師からのアドバイスをもとに、課題を練っていく 7、8月　週末セミナーを通して、実習計画書を作成 9月　　実習計画書を提出 10月　　実習開始 2週に1回、実習報告（メール報告） 11月　　中間報告書を提出 12月　　実習終了 1月　　最終報告書を提出 2月　　実習発表会 実習場所については、基本的に自身が所属する組織で行うこととし、実習２単位３０コマ相当以上の時間を要して１年間を通じて実習を行い随時実習報告書を提出しつつ、最終報告書を作成し、発表会で受講生に対して成果を発表することとする。 本科目は、「四国病院経営プログラム（履修証明プログラム）」履修生も受講する科目です。プログラム履修生にとっては必修科目となっています。 https://www.kochi-u.ac.jp/kms/koudo/index.html

教科書・参考書 **【COURSE TEXTBOOK / REFERENCE BOOKS】**	適宜、紹介する。

成績評価の基準と方法【GRADING POLICIES/CRITERIA】

評語	評点	基準
秀	90点～100点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、標準的に達成している水準をはるかに上回る成績
優	80点～89点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、標準的に達成している水準を上回る成績
良	70点～79点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、所定の課題について活用していると判定でき、標準的に達成している水準程度の成績
可	60点～69点	標準的に達成している水準を下回るが到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握していると判定できる成績
不可	59点以下	到達目標に示した知識・技能・考え方などが理解・把握できておらず、単位修得にふさわしくないと判定できる成績

成績評価の基準と方法 **【GRADING POLICIES/CRITERIA】**	提出物、実習についての発表により総合的に評価

パソコン必要度【NECESSITY OF PCs】

【パソコン必要度】 **（NECESSITY OF PCs）**	授業中に必要（1-2回程度必要、但書無し） 授業時間外学習に必要（1-2回程度必要）